

鹿ノ台川柳教室 三月度句会

三月十八日(月) 西集会所

席題「痛い」

奥村義雄選

突かれますからだ全体痛いところ  
 スギ花粉くしゃみ鼻水眼に痛い  
 息子相手に四の字固めかけてみる  
 子が叫ぶ痛いのが届かない  
 減る年金増す医療費に腹痛む  
 クリックを間違え益が損になる  
 タレントの危険ドラッグ痛い目に  
 狭心症胸の痛みはまさか恋  
 はんなりとした言葉で痛いところをつく  
 秀やんわりと痛いところつく京言葉  
 軸春めけば傷口痛むロストラブ

宿題「春」(連記)

勝部乃り子選

両陛下お疲れ様と舞う桜  
 クロゼット優しい色に手が伸びる  
 散り椿我を見守る伝香寺  
 桜の座脅かしてる杉花粉  
 任しとけ第二の春を何度でも  
 便り待つ合格願ひ届く夢  
 行く春に大地の目ざめ駆けめぐる  
 にぎやかに食卓飾る春の幸  
 雪どけに誘われ脳の溶鉱炉  
 誰よりも春待ち侘びるホームレス  
 木の芽時うつの調べが絶頂期  
 冬すぎてまだまだ遠いわが春は  
 今年こそリベンジの春サクラ咲け  
 被災地を忘れないでと春一番  
 春を待つ少し新札準備して  
 秀平成を惜む列島桜狩  
 軸隣国と春が来たのに雪解けず

宿題 自由吟(共選)

坪田登美選

梅が咲き桜が咲いて命咲く  
 朝寝した夢の続きはとっておく  
 借景の見事な梅で茶をすすする  
 ほほ笑んで胸の荒波ひた隠す  
 快樂という文言の解毒剤  
 バスひとつ手前で降りるおぼろ月  
 無謀にも味方が敵となる誤算

宏 樹  
 哲 子  
 乃り子  
 よう子  
 ちさと  
 広 子  
 勝 利

足るを知り五欲をすべて貯金箱  
 この際と五輪の支出青天井  
 色メガネ外せば誰も白になる  
 慎重に進んだ先の地雷原

金持ちも貧乏人もある苦労  
 秀付度は嘘と偽装の隠れ蓑  
 軸統べる君道まちがえて国ほろぶ

宿題 自由吟(共選)

原 広子選

子育てを忘れた頃に孫生まれ  
 コタツとり妻のグチ減りチトさびし  
 付度は嘘と偽装の隠れ蓑  
 金持ちも貧乏人もある苦労  
 財産を子には残さず争わず  
 梅が咲き桜が咲いて命咲く  
 この年で単身赴任またしたい  
 断捨離の手を止めその日ふと思う  
 松明に煩惱託し無にかえる  
 冬眠のカエル出番をじつと待ち  
 朝寝した夢の続きはとっておく  
 慎重に進んだ先の地雷原  
 秀足るを知り五欲をすべて貯金箱  
 軸色メガネ外せば誰も白になる

宿題「やがて」(互選)

千 楽

②また飲もうそういう賀状幾星霜  
 やがて来るイジメの無い日少子化で  
 近未来月旅行へときめく日  
 プレッシヤー感じ鋭いバネになる  
 こむづかしい父もやがては好好爺  
 ③今の内なら人に逢えませす過疎の村  
 失言の波紋重なり総辞職  
 チューリップ芽出し花咲く新入生  
 やがてくるあの世とメールつながる日  
 夫婦道やがて独りと覚悟する  
 ④真剣がやがて遊びになつてゆく  
 甘い汁体脂肪いう化けの皮  
 大丈夫ホトケにきつと出会えます  
 ⑤そのうちに着くでは遅い救急車  
 やがて来るその日の為にスクワット  
 ⑨人類はやがてボタンで明け暮れる  
 ⑬秀核のゴミやがて地球が呻き出す

千 楽  
 幸 男  
 哲 子  
 幸 男  
 哲 子  
 幸 男  
 登 美  
 義 雄  
 勝 利  
 春 代  
 よう子  
 哲 子  
 ちさと  
 正 清  
 千 楽  
 幸 男  
 乃り子  
 よし尚  
 勝 利

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(二月十八日〜三月十七日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

二月二十一日 題「輪」

輪を乱す正論言うか言うまいか アキラ

三月七日 題「残す」

やり残し指折り数え不眠症 英二

毎日新聞 山田順啓選

二月二十一日 題「マスク」

マスクして帽子をかぶり異邦人 アキラ

三月七日 題「暗号」

暗号に仕掛けた罊が解けない 勝利

三月十四日 題「言い訳」

穴あき野菜は言い訳などしない よう子

奈良新聞 居谷真理子選

二月二十日 題「ぼろり」

母がこぼすご飯涙の味がする 英二

不覚にも目からぼろりと出た弱気 よう子

世に染まりラ抜き言葉がぼろり出る アキラ

二月二十七日 題「ポーズ」

真白な手帳一応チェックする 英二

ポラードに片足のせて足がつる 正清

モナリザのポーズをまねて遺影撮る よう子

自分史のボクちよつとポーズを付けたがる アキラ

終活と遺影写真のポーズとる 幸男

三月六日 題「文字」

新聞の見出しの文字も怒ってる 英二

習いたてあそびにきてと孫の文字 アキラ

三月十三日 題「口」

夫婦でもこういう時は黙秘権 英二

やらいでかビッグマウスの血は熱い アキラ

糸口が見つからなくて道半ば よう子

使い方は重宝うそまこと 幸男

奈良新聞

二月二十一日 自由吟 松本柺子選

騙されて苦勞したのに人が好き アキラ

柔軟な思考がよどむカテゴリー 正清

共働き手抜きで育つ子の強さ よう子

病院の電動ベッド好きになる 幸男

三月十四日 自由吟 米田恭昌選

子育てが畜生以下になりはてる よう子

抑止力一皮むけば軍事力 アキラ

止めどなく鼻水誘う花粉症 幸男

思い出し笑いこらえて死の間際 正清

\* 橋正清、林勝利、前田幸男、

三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回句会 四月十五日 奈良公園方面へ吟行

九時三十分学園前駅北口集合(投句㊄) 雨天決行

交通費と昼食代(千三百円)各自ご負担ください

\* 少し歩きますのでそのような靴でご参加を

宿題は「桜」、「もしや」、「自由吟」各二句、

\* 「桜」(連記) 春代選

\* 「もしや」 義雄選

\* 自由吟 乃り子選

「桜」のみ連記 いずれも個人選 昼食時に披講

吟行参加できない方は宿題の欠席投句を

吟行時の句は五月句会自由吟で投句してください

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導

を得て、日頃の生活を、思うことを、五七五に。

句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一ヶ月百円

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)